

3 権利を設定し、または移転しようとする契約の内容	<p>売買による所有権移転 権利移転時期:〇〇年〇月〇日</p> <p>なお、土地の引渡しも〇〇年〇月〇日に行う。</p>
---------------------------	---

どのような契約を結び、農地をいつから使うかなどについて記入します。

以上

② 次に、申請書の2枚目を記入します。

(2/2)

農地法第3条の規定による許可申請書

「世帯員等」とは、住居および生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作または養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。

<農地法第3条第2項第1号関係>

1-1 権利を取得しようとする者またはその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用状況

所		農地面積 (㎡)			採草放牧地 面積 (㎡)	
		田	畑	樹園地		
有	自作地	20,000	20,000	—	—	
	貸付地	—	—	—	—	
地		所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
	非耕作地	—	—	—	—	—

自作地・・・譲受人（借人）やその家族が所有している農地のうち、きちんと自分たちだけで耕作している農地について記入します。

貸付地・・・譲受人（借人）やその家族が所有している農地のうち、人に貸していてその人がきちんと耕作している農地について記入します。

非耕作地・・・譲受人（借人）やその家族が所有している農地（人に貸している農地も含まれます。）のうち、耕作されていない農地について記入します。

所有地		農地面積 (㎡)				採草放牧地 面積(㎡)
			田	畑	樹園地	
	自作地	—	—	—	—	—
以外 の 土地	貸付地	—	—	—	—	—
		所在・地番		地目		面積(㎡)
		登記簿	現況			
非耕作地	—	—	—	—	—	—

借入地・・・譲受人(借人)やその家族が人から借りている農地のうち、きちんと耕作している農地について記入します。

貸付地・・・譲受人(借人)やその家族が人から借りている農地のうち、人に貸してその人がきちんと耕作している農地について記入します。

非耕作地・・・譲受人(借人)やその家族が人から借りている農地(人に貸している農地も含まれます。)のうち、耕作されていない農地について記入します。

(記載要領)

- 1 「自作地」、「貸付地」および「借入地」には、現に耕作または養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。
- なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」には、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。

家族の死亡により農地を一時的に貸している場合などで、転貸禁止の例外として農地法第3条の許可を受けているもの。

- 2 「非耕作地」には、現に耕作または養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～であることから条件不利地であり、〇年間休耕中であるが、草刈り・耕起等の農地としての管理を行っている」等耕作または養畜の事業に供することができない事情等を詳細に記載してください。

1-2 権利を取得しようとする者またはその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			樹園地			採草放牧地
作付(予定)作物	水稻	—	—	—	—	—	—	
権利取得後の面積(㎡)	25,000	—	()	()	—	—	—	—

二毛作等を行う場合は、主な作付作物以外の作物の面積については括弧書きで記入します。

(2) 大農機具または家畜

数量	種類	トラクター	田植機	コンバイン	耕うん機	
	確保しているもの	所有 リース	1台	2台	1台	
導入予定のもの	所有 リース				1台	
(資金繰りについて)					自己資金	

譲受人（借人）について記入します。

(3) 農作業に従事する者

① 権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況

農作業歴 (5)年

農業技術修学歴 (ー)年

その他 ()

② 世帯員等その他 常時雇用している 労働力(人)	現在:2 (農作業経験の状況:20年以上の農作業経験あり(水稻))
家族等について 記載します。	増員予定:なし (農作業経験の状況:)
③ 臨時雇用労働力 (年間延人数)	現在:0 (農作業経験の状況:)
	増員予定:なし (農作業経験の状況:)

④ ①～③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定または移転しようとする土地までの平均距離または時間

(①、② の者とも住所地から徒歩で約 15 分)

<農地法第3条第2項第4号関係>

2 権利を取得しようとする者またはその世帯員等のその行う耕作または養畜の事業に必要な農作業への従事状況（「世帯員等」とは、住居および生計を一にする親族ならびに当該親族の行う耕作または養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。）

農作業に従事する者の氏名	年齢	主たる職業	権利取得者との関係（本人または世帯員等）	農作業への年間従事日数	備考
① ×× ××	① 45	① 農業	① 本人	180日	
② ×× △△	② 76	② 無職	② 父	65日	
③ △△ ××	③ 75	③ 無職	③ 母	65日	

<農地法第3条第2項第5号関係>

3 権利を取得しようとする者またはその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況

(1) 権利取得後において耕作の事業に供する農地の面積の合計

(権利を有する農地の面積+権利を取得しようとする農地の面積) = (25,000 m²)

(2) 権利取得後において耕作または養畜の事業に供する採草放牧地の面積の合計

(権利を有する採草放牧地の面積+権利を取得しようとする採草放牧地の面積) = (— m²)

許可が下りた場合の経営面積を記入します。

<農地法第3条第2項第7号関係>

4 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者またはその世帯員等の権利取得後における耕作または養畜の事業が、権利を設定し、または移転しようとする農地または採草放牧地の周辺の農地または採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用法の違いによる耕作または養畜の事業への支障等について記載してください。)

申請地はこれまでも水田として利用されており、所有権移転後も同様に水田として利用するため、周辺の農地または採草放牧地の農業上の利用に影響を及ぼすことはないと考えます。

また、農薬の使用法については、地域の防除基準に従います。